

第2回 保護者説明会 次第

日時：令和3年12月20日（月）18時～

場所：高南小学校体育館

1. 開会
2. 挨拶（教育部長）
3. 出席者紹介
4. 事業説明（学校施設課長・施設整備課長）
5. 質疑応答
6. 閉会

【配布資料】

説明資料「高南小学校の別棟整備について」

資料1：函面

資料2：これまでの質疑応答について

令和3年12月20日
第2回保護者説明会
豊島区教育部学校施設課

高南小学校の別棟整備について

1. 別棟整備の概要

高南小学校の敷地に別棟を建設します。建設後は、まず子どもスキップおよび保育園仮園舎として使用し、その後に高南小学校および子どもスキップのスペースとして活用します。

【建物概要（案）】

延床面積：約1,264㎡（1層約420㎡）
階数：3階建て（鉄骨造）

【使用計画（案）】

	令和5・6年度	令和7年度～
3階	子どもスキップ	高南小学校校舎
2階	保育園仮園舎	
1階		子どもスキップ

2. 整備スケジュール（予定）

令和3年～ 別棟等設計
令和4年夏～令和5年秋 別棟等建設工事
令和5年秋 別棟等竣工

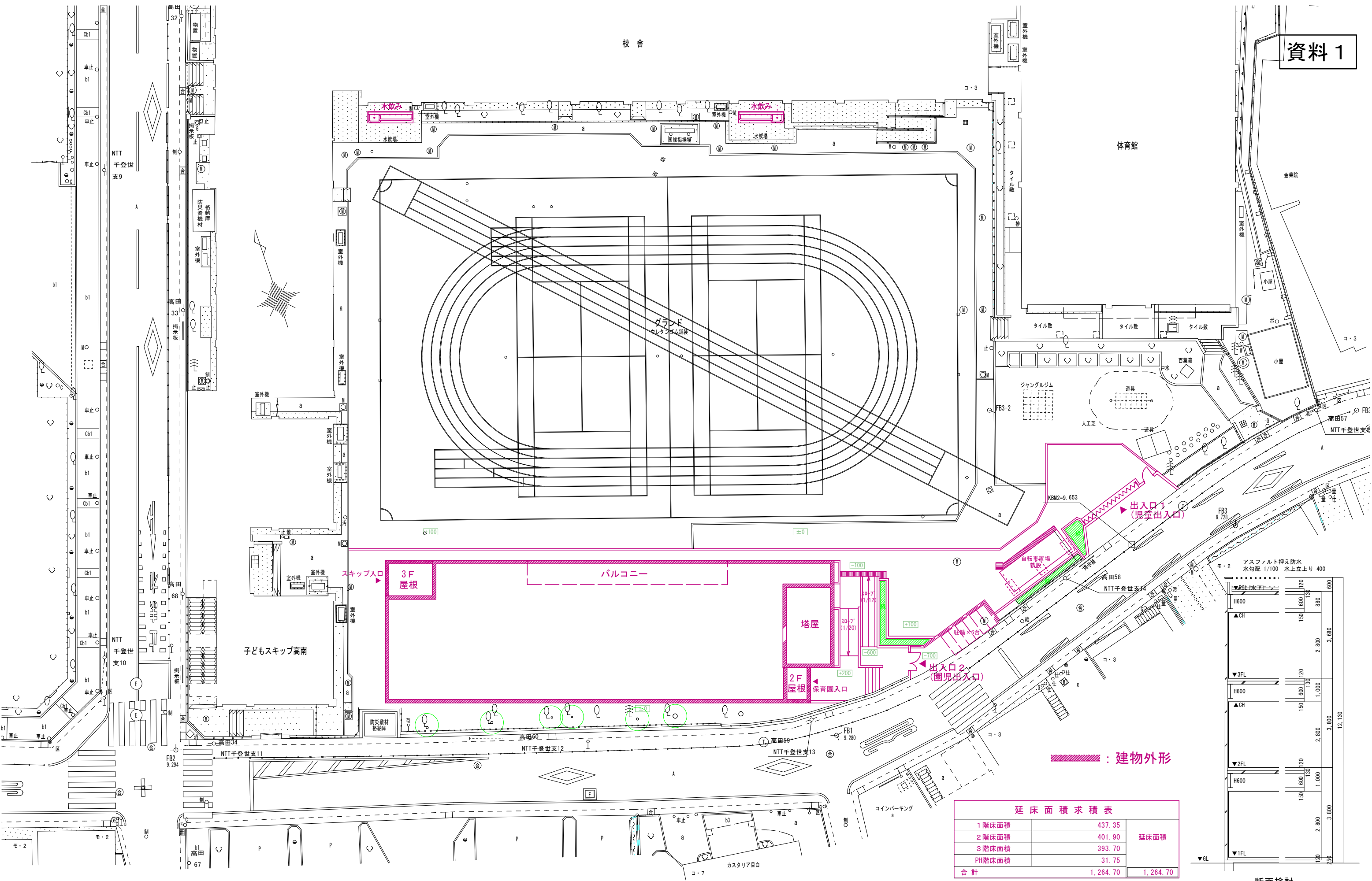
3. 別棟の配置について

資料1のとおり

4. 今後の説明会について

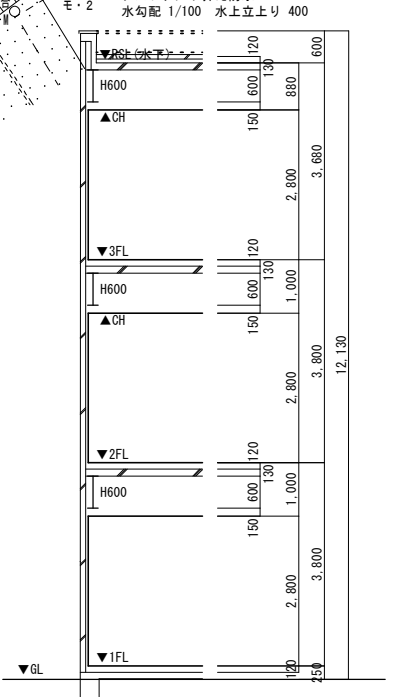
令和4年2月に第3回保護者説明会を開催する予定です。
詳細設計および整備スケジュールについてご説明いたします。

【担当】	学校施設課学校改築推進グループ	03-4566-2789
	放課後対策課児童支援グループ	03-3981-1058
	施設整備課建築第一グループ	03-3981-0623
	保育課公立運営グループ	03-3981-2028



延床面積求積表

1階床面積	437.35	延床面積
2階床面積	401.90	
3階床面積	393.70	
PH階床面積	31.75	
合計	1,264.70	1,264.70



これまでの質疑応答について

令和3年7月10日の保護者説明会質疑応答	
<p>Q1：大型マンション建設による児童数の増加、また、1クラスの最大人数の変更により教室が不足するため、建物を増築することは理解できません。しかし、児童は工事の間約1年間我慢することになります。その後、新しい建物には高南保育園が入ってくる計画とのことで、小学校の保護者の立場では、保育園ではなく小学校の子どもたちに利用させたいという希望があります。新しい建物に保育園が入らなくてはならなくなった経緯を教えてください。「校庭が空いているからそこに別棟を整備する」と安易に考えているとしたら納得がいきません。</p>	<p>A1：保育園決定の経緯について</p> <p>まず、保育園の敷地内に建てられないかということを検討しました。高南保育園の園庭は敷地が狭小でいびつであるという現状があるため、園庭に仮園舎をつくり、改築を進めることは施行中の安全確保が難しいという結論になりました。</p> <p>また、高田中央三丁目公園内に建てられないかということも検討しました。この公園は面積が約1000㎡あり都市公園に指定されています。公園に建築物を設置する場合代替地を準備する必要がありますことなどで、建築が難しいと判断しました。</p> <p>さらに、環状4号線という都市計画道路に約1000㎡の土地があります。これについても都に借りられないか相談しましたが、すでに事業計画があり難しいということでした。</p> <p>仮園舎整備については、始めに高南小学校ありきではなく、総合的に検討した結果の計画です。高南小学校に恒久的な建物を建築し上手に活用していくのがいい方法なのではないかということで提案させていただいているところです。</p>
<p>Q2：工事期間が約1年間となっています。その間の車両の出入り、騒音などが心配です。対策は今後考えていくのでしょうか。</p>	<p>A2：①工事内容についてご心配されていることと思います。当然音が出ないということはありません。対策としては、児童と工事車両の動線を分け、校門の場所を変更することも考えています。今後工事説明会を開催する予定ですが、それより前のどこかのタイミングで工事計画の情報を共有できればと考えております。</p> <p>②工事車両は児童とは別のところから入るようにします。また、登下校の時間は工事車両が入らないようにする、出入口には警備員を配置する、工事場所は仮囲いをするなどの安全確保を徹底します。騒音に関しては、音の出る工事はなるべく休み期間に行う、登下校時間に重ならないようするなど、最大限学校の運営に支障を来たすことのないような工夫をして対応いたします。</p>

<p>Q3 今回の資料について、まだ計画段階という ことで、建てることによるメリットは明記されて いますが、無くなるものやデメリットが記載され ていません。</p> <p>これについて保護者の皆さんが一番不安に思う ので、次回以降の説明会では、無くなるものや、 デメリットも提示してほしい。</p>	<p>A3 設計が進んだところで、別棟整備に際し、撤去しなければ ならないものや移設を検討しているものについてお示ししたいと 考えています。今回の計画では校庭の南側に別棟整備を計画して います。児童、保護者の皆様が慣れ親しんだ桜の木が配置されて いる場所です。桜の木の移設については、樹木診断を実施し、可 能であれば移設したいと考えております。また、遊具について も、工事中に動かす必要があるものなどを、今後検討してお示し したいと考えております。</p>
<p>Q4 教室で音が少し聞きづらかったため、教室か ら体育館に移動してきました。コロナ禍や仕事 で参加できない保護者のために、本日の質疑応 答の内容を書面で保護者に配布し参加できな かった保護者にも情報共有をしていただきたい。</p>	<p>A4 本日来られなかった方や配信で聞き取りづらかった方のた めに、質疑内容について議事録として学校を通じて配布いたし ます。</p>

令和3年9月3日通知「説明会開催後の質疑応答について」	
<p>Q1 学校施設は「震度6強で倒壊しない耐震性能」 と定められていると思いますが、建築途中、仮囲い 等も含めて同等の耐震性を保証できるのでしょうか。 その点が心配です。ご確認ご検討の程よろしく お願いいたします。</p>	<p>A1 学校施設について、ご指摘のとおり震度6強の耐震基準で法 令に法り建築いたします。仮囲い等については、国の工事安全技術 指針などにに基づき適切に設置するよう受託事業者に指導してまい ります。</p>
<p>Q2 別棟が校庭の南側に計画が進んでいる経緯が 知りたいです。南側以外の別案（例えばスキップ移 転、東側の遊具スペースなど）の検討の結果が知り たいです。よろしくをお願いします。</p>	<p>A2 東側の遊具スペースについては約200㎡で狭いこと、形状が いびつなことから、建物を建てるには適さないと判断いたしまし た。</p> <p>また、子どもスキップについては、利便性のみならず、交通事故・ 不審者・大規模災害等から児童を守るために、原則として学校敷地 外ではなく、敷地内で運営しています。学校敷地内にあることで、 各小学校と連携し、一体的な運営が可能となり、より安全・安心な 体制を確保しています。</p>
<p>Q3 工事中校庭が狭くなったり、使えなかったりす る時期があるかと思えます。子どもたちの運動量の 確保のための工夫を校内（教員・子どもたち）や保護 者・地域からアイデアを広く募って、工事中もい っぱい体を動かしてほしいです。例えばダンス・ス トレッチタイム・プールに蓋をして屋上として活用・ 階段昇り降りタイムなど。</p>	<p>A3 工事期間は仮囲いを設置するため、約1年間校庭は1,500㎡ 程度になる予定です。ご指摘のように、工夫して校内や体育館を使 用するなど、体を動かす機会を作っていくことは重要だと思いま すので、良いアイデアがあればお知らせください。</p>

<p>Q4 ただでさえ高田地区は広い公園もなく、子どもたちがのびのび遊べる場として校庭が狭くなることに反対しております。今後の児童数増加によりさらに校庭が狭くなるため、むしろ建設することには疑問を感じております。仮園舎を大型マンションのモデルルーム跡地に使用し、その後スキップや子どもの居場所として使うことはできないか検討していきたい。もしくは新しくできるマンション施設内を一時的に借りて園舎として使用させてもらえるよう考えることもできるのではないかと？（子どもの増加の要因となっているため）</p>	<p>A4 8月現在基本設計に着手したところであり、校庭が最大限確保できるよう建物の配置を検討しているところです。</p> <p>仮園舎を東京建物ギャラリー跡地に建設してほしいとのご意見については、土地所有者との話し合いが必要となり、想定しているスケジュール通り進まず、増加傾向にある児童数の課題解決に支障をきたすことが予想されます。また、跡地に一時的に（1年半程度）仮園舎を建設できた場合でもその費用は多額となります。以上のことより、高南小学校敷地内に別棟を建設し有効活用する現在の計画がよりよい選択と考えております。</p>
<p>Q5 今回の別棟整備に至った判断が妥当なものか考えるためにも大型マンションの規模、それによる保育園、小学生の増加のシミュレーションについても公開願います。</p> <p>デメリット開示の要求もありましたが、同じ意見です。桜の木だけでなく、そもそもの工事に伴うものや、校庭が狭くなることで発生する（想定される）ことについても披瀝願います。</p>	<p>A5 小学生について</p> <p>今般新築される大型マンションは、総戸数 454 戸の規模とされています。新築マンションが建設された場合、子どもの数はこれまでの実績から全戸数の約 5%と予測しております。したがって 454 戸のマンションの場合、増加数は 23 人程度と想定しております。また、35 人学級の段階的实施などを併せて考慮すると、教室需要数はこの先 5 年以内に最大 17 教室になることも予想されます。現状は 12 学級で、普通教室数が 13 教室であるため今後の対策が必要と考えております。</p> <p>保育園児について</p> <p>令和 3 年 4 月時点では、高田地域の園児が 251 名、通園先の内訳は高田地域 132 名、雑司が谷・目白地域 81 名、その他地域 38 名。マンション建設により 23 名の需要増を見込んでおり、雑司が谷・目白地域に通っている 81 名と合わせて 104 名。令和 4 年 4 月に新設園（定員約 70 名）と高南保育園の定員増（28 名）により合計 98 名分の受け皿を増やせるため、おおむね保育需要にこたえられると考えております。</p> <p>デメリットについて</p> <p>今後設計やスケジュールについて学校と検討いたしますが、遊具の移設、撤去及び植栽の移植、伐採を検討しなければならないこと、スポーツテストなど校庭を広く使用する行事の日程調整、工事の騒音や車両の出入りなどが考えられます。今後設計が進むにあたり、新たな課題も出てくると考えております。</p>
<p>Q6 校庭は今まで通り使用できるのか。また使用できる範囲についても知りたい。校庭開放でテニスコートとして使用させていただいているので継続できるのか不安なので。</p>	<p>A6 工事期間は仮囲いを設置するため、約 1 年間校庭は 1,500 m²程度になる予定です。またテニスコートは令和 4 年半ばより上記の約 1 年間は使用できなくなる予定です。ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>